幾何学 (Geometry)

目次

1 立体 1

1 立体

定理 1:正多面体の双対性 (dual polyhedron of regular polyhedron) 立方体の各面を中心として作られる多面体は正八面体となる。逆の操作を正八面体に行うと立方体が得られる。この操作によって、正十二面体と正二十面体が互いに得られ、正四面体からは正四面体が得られる。

この立方体と正八面体、正十二面体と正二十面体、正四面体と正四面体の組は互いに双対であるという。特に正四面体は自己双対である。